

行政課題内容

課題タイトル	5 東山動植物園の園内案内の充実
背景と課題	<p>訪日外国人に係る園内案内等については、案内看板に英語表記したり、パンフレットを5言語版作成したり、入園窓口で翻訳アプリを利用してコミュニケーションをとるなどの対応をおこなっている。</p> <p>上記以外の言語を使用される来園者や、コミュニケーションを取りづらい性格の来園者にとっては、東山動植物園は非常に広域な施設であり、目的地にたどり着くことも困難な場合が想定される。</p>
イメージする解決方策	<p>東山動植物園は、様々な国から訪れるお客様がスムーズに目的地にたどり着けるよう、多言語に対応できる端末（タブレットやロボット、AIによる音声案内など）により、自分で検索することで、目的の施設（動植物、遊園地、トイレ、売店、自販機、雨等をしのげる屋根のある施設等）の場所がわかるように、園内案内の充実を図る。</p> <p>（操作は音声認識でなくタッチパネル等も可）</p>
付加的な提案要素	案内結果の出力（対応した言語により、どの言語圏の来園者が来園しているのか、割合等が分かる指標となる。）
期待する実証希望者像	担当部署と密接に連携し、実証に反映できる方。
提供可能なデータ・場所等	東山動植物園の施設位置図等
担当部署	緑政土木局東山総合公園管理課